

ローコスト位置検出ユニット



ローコスト
位置検出ユニット

ローコストな組み込みカメラと、直観的に操作できるレシピ編集ソフトウェアで、手軽に画像処理での位置検出ができます。

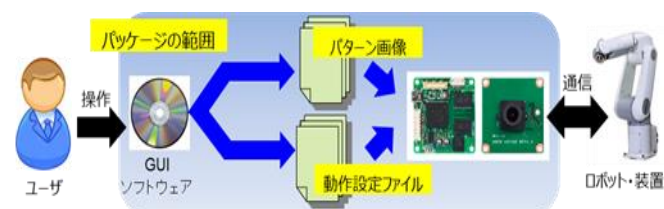
◆仕様

項目	仕様
位置検出時間	0.3 秒 (検出対象 100×100 画素)
位置検出精度	±0.1mm (WD=200mm)
インターフェース	シリアル、Ethernet(無線、有線)
サイズ	W50×D50×H40mm
有効画素数	640×480 画素
登録レシピ数	256

◆適用例 (ロボットの位置決め)

産業用ロボットを用いた加工や組立工程において、画像処理による位置決めができます。レシピ編集ソフトウェアを使用し、認識するパターン・パラメータをレシピとして登録します。

ロボットからローコスト位置検出ユニットにレシピをコマンドとして与えると、検出した位置を返信しますので、位置決めに活用できます。



レシピ編集ツール

特長 1. 安い・簡単・使いやすい

- 組み込み式のカメラと Linux ベースの画像処理ボードを使用し、安価な位置検出ユニットを実現
- 付属(パッケージ化)のレシピ編集ソフトウェアで、通信先の情報(シリアルポート、IP)を設定するだけで簡単に接続が可能

特長 2. 拡張性

- レシピ編集ソフトウェアにより最大 256 個のレシピを生成可能
- 複数台ユニットのレシピを 1 つのソフトウェア上で管理可能

特長 3. 位置検出プログラムレス

- 登録済みのレシピ番号を指定するだけで位置検出が可能

◆お問い合わせ先

株式会社東芝 生産技術センター
メカトロソリューション推進部
TEL 045-759-1659

※仕様は機能、性能向上などのため変更することがありますのでご了承ください。